

みずほCustomer Desk Report 2020/11/25号(As of 2020/11/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	104.59 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.53	1.1843	123.82	1.3324	0.7295
SYD-NY High	104.76	1.1896	124.33	1.3380	0.7367
SYD-NY Low	104.15	1.1838	123.71	1.3294	0.7285
NY 5:00 PM	104.44	1.1892	124.20	1.3361	0.7361

NY DOW	30,046.24	454.97	日本2年債	-0.15	0.00bp
NASDAQ	12,036.79	156.15	日本10年債	0.02	1.00bp
S&P	3,635.41	57.82	米国2年債	0.163	0.08bp
日経平均	26,165.59	638.22	米国5年債	0.400	1.27bp
TOPIX	1,762.40	35.01	米国10年債	0.884	2.62bp
シカゴ日経先物	26,475.00	535.00	独10年債	-0.5660	1.35bp
ロンドンFT	6,432.17	98.33	英10年債	0.3275	1.05bp
DAX	13,292.44	165.47	豪10年債	0.9000	3.70bp
ハンセン指数	26,588.20	102.00	USDJPY 1M Vol	6.15	▲0.10%
上海総合	3,402.82	▲ 11.67	USDJPY 3M Vol	6.36	▲0.01%
NY金	1,804.60	▲ 33.20	USDJPY 6M Vol	6.58	▲0.02%
WTI	44.91	1.85	USDJPY 1M 25RR	-0.68	Yen Call Over
CRB指数	159.791	2.47	EURJPY 3M Vol	6.59	▲0.06%
ドルインデックス	92.23	▲ 0.28	EURJPY 6M Vol	6.93	▲0.02%

東京	東京時間のドル円は104.53レベルでオープン。仲値にかけてドル円はこの日の東京高値となる104.64まで上昇。その後104円台半ばを挟んでのレンジ推移を続けていたが、東京午後時間にて投機筋による大口ドル売りフローが立て続けに入り、ドル円は一時104.35まで売られ、結局104.38レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	本日ドル円は値を上げた。104.38レベルでオープン。前半は新型コロナウイルスワクチン実用化への期待にリスクオン、ドルが売られ104.15まで値を下げた。後半はポジション調整や米10年債の上昇を背景にドルが買われ104.53レベルにてNYへ渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 丸野)
ニューヨーク	本邦輸出企業や投資家の戻り売りに海外市場のドル円は104.15まで下落する局面もあったものの、ワクチンに対する期待や、トランプ大統領がバイデン氏への政権移行手続き開始を容認したことから、リスク志向にその後は円売りが強まり、ドル円は104.53レベルでNYオープン。朝方は米9月ケース・シャワー住宅価格指数が住宅在庫が歴史的な低水準にとどまっていることを背景に、予想を大きく上回り、ドル買いに104.76まで上昇する。続いて発表された米11月消費者信頼感指数が予想を下回り、ドル売りが優勢となる一方、株式市場が堅調に推移する展開に、ドル円は下値をサポートされ104.70付近での推移が続く。米ダウが取引時間中に初の30,000ドル台へ乗せる動きにドル売りが更に強まり、104.57まで下落する。午後は、バイデン次期政権の主要ポストのいくつかが正式に発表されたものの、事前に伝わっていたことから市場の反応はなく、終盤に掛けては株高を背景にドル売りが持ち込まれ、ドル円は104.43まで下落し、104.44レベルでクロスした。一方、ユーロは独第3四半期GDP確報値が予想を上回ったことや、独11月IFOが期待指数が予想を下回り一方現況が予想を上回り、リスク志向のドル売りも持ち込まれたことから1.1894まで上昇し、1.1868レベルでNYオープン。朝方は、米住宅関連指標を受けたドル買いに1.1842まで反落するが、リスク志向のドル売りが再び優勢となり、1.1886まで戻す。午後はマクロン仏大統領が「今月28日からロックダウンを徐々に解除すると発表したものの、ユーロの反応は薄かった。終盤に掛けては株高を受けたドル売りに、ユーロは1.1896まで戻し、1.1892レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

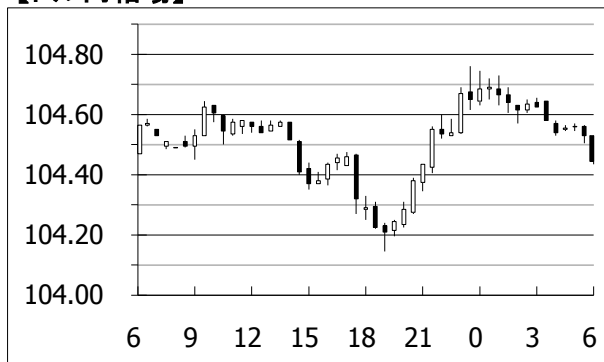
【昨日の指標等】

Date	Time	独	Event	結果	予想
11月24日	16:00	独	GDP(前期比)・確報	3Q	8.5%
	18:00	独	IFO企業景況感指数	11月	90.7

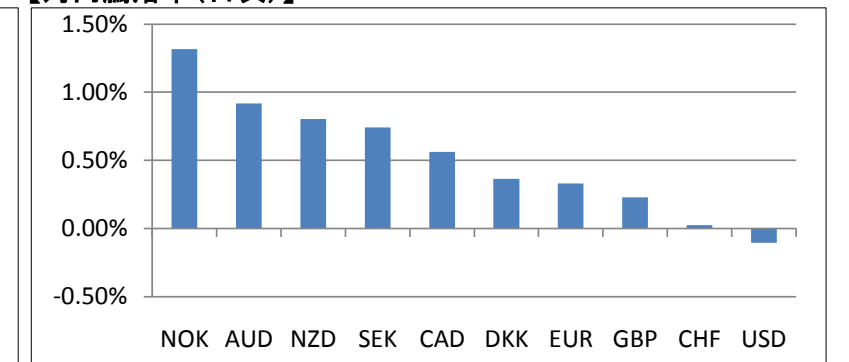
【本日の予定】

Date	Time	米	Event	予想	前回
11月25日	22:30	米	新規失業保険申請件数	-	730k
	22:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	10月	0.4%
	22:30	米	GDP(年率/前期比)	3Q S	33.1%
	22:30	米	個人消費	3Q S	40.9%
	22:30	米	コアPCE(前期比)	3Q S	3.5%
	22:30	米	耐久財受注(前月比)/同(除輸送用機器・前月比)・速報	10月	0.9%/0.5%
11月26日	00:00	米	個人所得/個人支出	10月	-0.1%/0.4%
	00:00	米	PCEデフレ率(前月比/前年比)	10月	0.0%/1.2%
	00:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	11月	77
	00:00	米	新築住宅販売件数	10月	975k
	4:00	米	FOMC議事録	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	104.00-105.00	1.1800-1.1950	123.90-124.90

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は104円台にて推移。仲値にかけて強含む展開となるも、投機筋の大口ドル売りフローが持ち込まれるなどフロー主導で104円台前半まで下落。欧州時間序盤にかけて104.15まで軟化した。一巡後は、ポジション調整や米国10年債の上昇を背景に再び104.50台まで反発。ワクチン開発やトランプ大統領がバイデン氏への政権移行手続き開始を容認したことが好感され104.76まで上値を上げた。終盤にかけては、リスク志向からドル売り地合いとなり104円台半ばでクローズ。本日のドル/円は104円台でのレンジ相場を予想。新型コロナウイルスワクチンの良好な開発状況から楽観ムードが広がるも、足元の感染者拡大を鑑みると楽観一色といった展開にはなりづらいと考えている。ドル円は株式市場や米金利動向を睨みながら、主体性の乏しい推移になるのでは。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村	
ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア	

ブル	ベア
9	12